

■ ジョウゼフ・コンラッド協会(英国) 第40回年次大会

2014年7月2日から6日まで、英国ケント大学ケインズコレッジで開催された英国コンラッド協会の年次国際大会に出席した。ちょうど40回目を迎える今大会は、1975年の第1回大会の開催地と同じケント大学で開催された。大会委員長を務められた Dr Keith Carabine の閉会挨拶¹⁾によれば、23か国から計76名が出席した。

1914年に勃発した第一次世界大戦からちょうど100年目ということで、戦争と絡めたコンラッド論が大会の一つの柱となっていた。その一方で、やはり作家名を冠した学会らしく、発表者の個々の興味・関心に基づいてコンラッドのテキストを精緻に読解し、作品論や作家論を展開するスタイルの発表が中心を占めていた。発表で頻繁に取り上げられたテキストを挙げると、*Lord Jim* や“*Heart of Darkness*”のような代表作をはじめ、2015年に出版100周年を迎えた *Victory*、大会3日目に Peter Fudakowski 監督による映像作品が上映された“*The Secret Sharer*”などがあつた。

筆者にとっては新鮮な経験だった。国外のコンラッド学会での初めての発表を行い、緊張したが、学会の大変 supportive な雰囲気の中で何とか無事に終えた。今後の研究に対する有益な示唆が得られ、また活字でしかその名前と仕事を知り得なかった英国のコンラッド学者と直接意見交換を行う機会を得られた。研究発表は、三つの発表が一つのテーマで束ねられ、擬似シンポジウムの進行がなされていた。このスタイルは活発な議論を促す意味で興味深く、日本コンラッド協会の今後の大会にも参考になると思われる。また、大会2日目に、Peter Villiers 氏がコンラッドに扮し、妻ジェシーとの会話を模したユーモラスな寸劇を披露したり、先述のとおり“*The Secret Sharer*”の映画が上映されるなど、研究発表以外にも硬軟取り混ぜた盛りだくさんの内容であつた。

最終日の6日には、エクスカッションが用意されていた。ケントと言えばコンラッドが居を転々としながら作家生活を過ごし、また Henry James など同時代の文人達と交流した舞台として知られている。彼が住んだ家は現存しているものの、いずれも閑静な田舎にあってアクセス手段が限られ

ている上、現在も住居として使われているため、研究者といえども中に入って気軽に見学することは難しい。今回、住人の方の許可を得てそれらの家を訪れる機会に恵まれたので、以下そのいくつかを点描する。

小雨の降る中まず最初に訪れたのは、カンタベリーにあるコンラッドの墓地（写真1）。Spenser を引用した“Sleep after toyle, port after stormie seas, Ease after warre, death after life does greatly please.”というあの墓碑銘は、コンラッドの劇的な一生を要約するにはあまりに出来過ぎの感さえある。ここで一同、黙祷を捧げ故人の生涯を改めて偲んだ。

そこからバスで約30分の場所に、次の目的地である Pent Farm があった（写真2）。この人里離れた小さな屋敷にコンラッドは1898年から1907年まで住み、その間“*Heart of Darkness*”、*Lord Jim*、*Nostromo*、*The Secret Agent* といった数々の傑作を執筆した。庭が整えられ、花と緑に囲まれた、イングランド郊外の典型的な煉瓦屋敷であった。

Pent Farm からさらにバスで30分の場所には、1910年から1919年まで住んでいた Capel House がある（写真3）。ちょうど *Chance* により売れっ子作家になり始めた時期の住居である。庭園に垣間見える日本風の石灯籠と、モネの名画を模したような池と太鼓橋は、後世の住人によるものだろうか。ここでは屋敷の中も見学する機会に恵まれた。薄暗い居間の窓から差し込む光に目をやりながら、ちょうど100年前に同じ景色を見ていたはずの作家に思いを馳せた。

最後に訪れたのは、コンラッドがその生涯を静かに終えた Oswalds（写真4）。明るい雰囲気のある白亜の壁が印象的な屋敷で、おそらく彼が息を引き取ったと思われる部屋は、現在は子供部屋として使われていた。

コンラッドの見た景色を体感し、作家の息づかいまで伝わるようなこれらゆかりの地の訪問は、一生に一度の、研究者冥利に尽きる贅沢な経験となった。

注

1) Dr Keith Carabine による第40回大会閉会の辞“Conrad in My Life”は、英国コンラッド協会ウェブサイトの以下の場所で公開されている。

<http://www.josephconradsociety.org/soc_news/Carabine_Conf_Address_2014.pdf>



写真1 コンラッドの墓



写真2 Pent Farm



写真3 Capel House



写真4 Oswalds

(えのきだ かずみち 広島大学准教授)